



一人ひとりがそれぞれの道で

努力する覚悟です

滑川市成人式

二十歳の門出を祝う成人式が1月11日(日)、391人(男203人、女188人)を対象に、市民会館大ホールで開催されました。

おだやかな天候となったこの日、真新しいスーツや色鮮やかな振りそで姿などで出席した新成人は、旧友と再会し、思い出話や記念撮影を楽しむ光景も見られました。

また、今年も新成人でつくった実行委員会が準備や当日の進行・受付などを担当し、和やかで厳粛な成人式になりました。



和やかで厳粛な会場の様子



市長から新成人を代表して記念品を受け取る村中さん

式典では市長が、「大人になったことを自覚し、この大きな節目に、生や死、青春、人生について考えてほしい」と式辞を述べ、村中さんに記念品を手渡ししました。

また膳亀さんが新成人を代表して二十歳の決意を述べました。



二十歳の決意を述べる膳亀さん

二十歳の決意(一部抜粋)

今日の佳き日を迎えることができしたのは、両親、家族をはじめ職場の皆様、そして恩師や多くの方々のおかげに愛情に包まれ、育てられたお陰と心から感謝いたします。

成人を迎えた今日からは、一人の社会人として権利が与えられるとともに、責任を果たす義務があることも自覚しております。そして、私たちはいよいよ大人としての第一歩を踏み出すのです。

しかし、私たちの歩んでいく世界は大変に厳しい世界です。このような世情では、ややもすると、自分自身のありさまを見失いかねません。

だが、私たちは前進しなければなりません。自分自身の歩んできた道を顧み、信じて、進んでいかなければならないのです。そして、二十一世紀のピオニアとして新たな道を創造する役目を私たちは担っているのです。

古里滑川市のさらなる飛躍と発展を願い、一人ひとりがそれぞれの道で努力する覚悟です。

く やってよかったく

成人式実行委員会

滑川市では、今年から新成人による成人式実行委員会がつくられ、18人が内容の検討から準備、受付、司会などを担当し、自分たちの成人式の運営にたずさわりました。



入口の寒い場所で来賓受付を担当した稲崎さん(左)と澤田さん(右)。



「いい記念になりました」楽しいです」と受付担当の深井さん(左)と水井さん(右)。



懐かしい友だちの顔を見て、嬉しそうに受付をする日俣さん(右)。「委員会に携われて光栄です」



司会の毛利さん(左)は、「実際にやってみると緊張したけど、いい思い出になりました」。法澤さん(右)は「緊張したけど指導していただいたので、なんとか仕事を終えられました」と終了後は2人とも安堵の様子。

式典のなかで、平成15年度優良青年表彰があり、市空手協会指導部長として会員を指導し、空手道の普及と青少年の健全育成に尽力した千先健時さん(28歳高塚)が、教育委員長より表彰を受けました。



教育委員長より表彰を受ける千先さん

交通安全推進署名簿が西元さんから滑川警察署長に提出された後、アトラクションの富山大学準ダンス部「ストリートダンスショー」が行われました。最後に岩田さんが成人者を代表して、謝辞を述べました。



謝辞を述べる岩田さん

新成人が生まれた年の
主なできごと

昭和58年4月～59年3月
市のあゆみ

9月 「ふれあいの船」北海道への派遣

11月 市制施行30周年記念式典

社会のあゆみ

9月 大韓航空機墜落事件
10月 田中元首相に実刑判決

「富山県置県百年記念事業 県内一周駅伝

1月 59豪雪

3月 グリコ・森永脅迫事件

世相

流行語「ネクラ

ブーム「NHKドラマ

「おしん」

流行歌「氷雨」佳山明生

成人になって一言

責任が重大になりました。頑張ります。渡辺さん(右)



夢(心理職関係に就きたい)を叶えたい。松井さん(左)



記念撮影を楽しむ新成人

